

今回は、今まで記載させていた事を改めて抜粋で伝えさせていただきます。  
vol.41 「逆境を反転させるヴァイオリンコンサート」少しずつでも、差別や偏見や無用な心理的バリアが溶けていけば、良い社会、街が形成されていく。 vol.42 「市川市民としてのあり方、前編」何か新しい創造が生まれた時は、その人の志が鮮明に発信され、それが求心力となって人を巻き込んでいく。 vol.43 「市川市民としてのあり方、後編」問題解決に結びつくときは決まって、依存体質だった方々が主体的に動いた時。政治を政治家や役人だけに任せるのではなく、私たち市民が主体的に関わっていく事が肝要。 vol.44 「決戦！？ 2月議会 in 2013」市川市独自に固定資産税の特例措置を解除するための空き家の定義、認定事務のガイドラインを制定する。 vol.45 「夏休み疎開プロジェクト for 福島 後日談」皆さんの力を借りて、ひとりの少年に喜んでもらえた事は誇っても良いのかも知れない。 vol.46 「数値化至上主義世界に生きる私たちへ」私たちに必要なのは、人々に対して愛情を注ぐ行動の中に、なんとかして留まる能力であり、自分自身の成果を喜ぶ能力。 vol.47 「逆境を反転させる美術鑑賞会」障害がある人もない人も関係なく交流を通じて、仲間をつくったり、障害者と健常者が共に考えることをゴールとしたい。 vol.48 「市川市とその30%の人々」現職議員の多くは自分の時間の30〜70%をご機嫌取りに費やす。これは政治システム上の腐敗。 vol.49 「クリーン・キャンペーン with 市川をきれいにし隊」ごみを拾うことで街に愛着を持つ。この街は自分の場所だ！という感覚が生まれる。

選挙直前に「私はこんな事しました！」と言い出すのは、後付けで何とでも言えるのではないか？ 吟味し切れないのではないか？ と思いつつ「4年に一度だけの評価ではなく、常に皆さんが、私に厳しい目で評価でき、議員をさせて良いか判断できるようにしたい。」という想いで4年半、駅頭活動を続けています。皆さんも「今後も住みたい市川市」を話し合ってください。 個々人の想いが集まれば、良い社会が形成されます。 今日も1日、素敵な日を過ごせますように。 気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成26年11月21日

増田好秀